私たちは「心温かい信頼の医療」を目指しています。

vol.113
発行／2026年4月1日

東北中央病院 情報誌

DREAMING

Heart of the Dreaming

（写真：第７回フォトコンテストグランプリ　荒木ゆかり）

病院長就任のご挨拶

病院長　上野（うえの） 義之（よしゆき） …… 2

ドリーミング・インタビュー

整形外科　鈴木（すずき） 学（まなぶ） …… 4

田中名誉病院長
４月以降も当院で診療します …… 6

新任医師紹介
外科／放射線科／消化器・肝臓内科 …… 6

病院長就任のご挨拶

病院長　上野（うえの）　義之（よしゆき）

このたび令和８年４月１日付で、公立学校共済組合東北中央病院の病院長を拝命いたしました上野義之と申します。田中靖久前院長をはじめとする多くのスタッフが長年にわたり築いてきた「心温かい信頼の医療」の実践による地域医療の歴史と伝統を受け継ぎ、その舵取りを担うこととなりましたことに、身の引き締まる思いでおります。

私は昭和62年に東北大学医学部を卒業し、東北大学大学院医学研究科第三内科（消化器・糖尿病・血液）において内科学を専攻いたしました。その後、米国メイヨークリニックにおいて研究および臨床に携わる機会を得て、世界的な視点から医学研究と最先端の医療について学びました。帰国後はＪＲ仙台病院での勤務後に東北大学医学部で診療・研究・教育に従事し、さらに2011年より山形大学医学部内科学第二講座教授として消化器・肝臓病学の分野における臨床・研究・人材育成に取り組んでまいりました。また、山形大学では医学部長・医学研究科長を務め、大学病院の運営や医療人材の育成、地域医療との連携の推進に携わってまいりました。これまでの経験を生かし、本院のさらなる発展と地域医療の充実に貢献してまいりたいと考えております。

東北中央病院は、公立学校共済組合の医療機関として教職員の皆様の健康を支えるとともに、地域住民の皆様に質の高い医療を提供する重要な役割を担ってきました。地域の皆様にとって安心して受診できる医療機関であり続けること、そして地域医療の中核として信頼される存在であり続けることが、本院の大きな使命であると考えております。

近年、日本の医療は少子高齢化の進展や疾病構造の変化、医療技術の高度化などにより、大きな変革の時代を迎えています。こうした環境の中で医療機関に求められているのは、安全で質の高い医療を安定して提供するとともに、地域の医療機関や介護・福祉施設との連携を強化し、地域全体で患者さんを支える医療体制を構築することです。本院においても、急性期

医療を中心とした専門的医療の充実を図るとともに、地域医療連携を一層推進し、切れ目のない医療の提供に努めてまいります。

医療の質と安全を守るためには、医師のみならず看護師、薬剤師、医療技術職、事務職員など、多職種が互いの専門性を尊重しながら協力する「チーム医療」が不可欠です。本院では、職員一人ひとりが誇りと使命感を持ち、それぞれの専門性を発揮できる環境を整えることで、患者さん中心の医療を実践してまいります。また、医療従事者が安心して働き続けられる職場環境を整備することも、持続可能な医療体制を築く上で極めて重要であると考えております。

私はこれまで、消化器病学を中心とした臨床研究にも取り組んでまいりました。医学は日々進歩しており、臨床現場で得られた知見を研究へとつなげることで、新たな診断法や治療法の開発が可能になります。本院においても、地域医療を基盤としながら、医療の質向上につながる臨床研究や医療人材の育成を推進し、地域医療と医学の発展の双方に寄与していきたいと考えております。

地域の皆様に信頼され、安心して受診していただける病院であり続けるためには、患者さんやご家族の声に真摯に耳を傾ける姿勢が何より大切です。私たちは常に患者さんの立場に立ち、温かく誠実な医療を提供することを基本理念として、地域の皆様に寄り添う医療を実践してまいります。

東北中央病院が、地域の皆様にとって「安心して相談できる病院」「信頼して医療を任せられる病院」であり続けるよう、職員一同力を合わせて努力してまいります。今後とも地域の皆様、関係医療機関の皆様、そして関係各位のご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

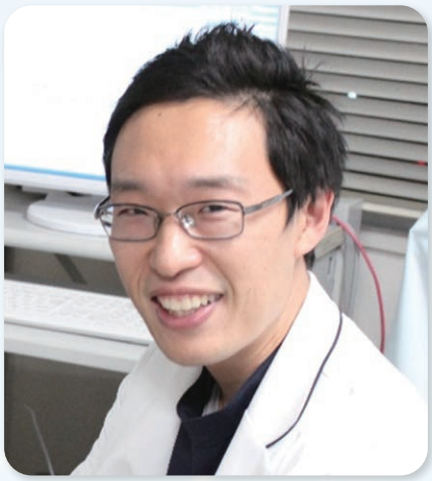
肝臓外来のご案内

４月から上野病院長が外来を担当します。長年の臨床経験をもとに、肝臓に関するさまざまなご相談に対応します。ご自身の健康管理のため、健康診断で肝臓の数値が高いと言われた方や、肝臓の病気が気になる方はお気軽にご相談ください。定期的な確認が安心に繋がります。

診療日／毎週火曜日・木曜日　　受付時間／8:00～11:30
お問い合わせ先／消化器・肝臓内科外来　TEL023-623-5111

DREAMING INTERVIEW
ドリーミングインタビュー

整形外科 鈴木（すずき） 学（まなぶ）



プロフィール

出　身：宮城県仙台市
趣　味：子供たちと遊ぶこと
略　歴：

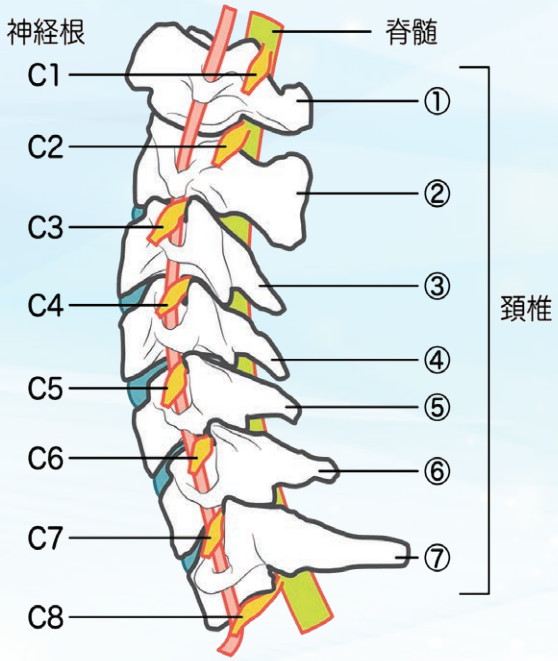
平成18年	4月	仙台市立病院	初期研修、救急科
平成23年	4月	仙台医療センター	整形外科
平成23年	10月	東北大学病院	整形外科
平成24年	4月	平鹿総合病院	整形外科
平成26年	4月	東北中央病院	整形外科
平成30年	4月	東北大学病院	整形外科
令和 3年	4月	仙台西多賀病院	整形外科
令和 5年	4月	仙台医療センター	整形外科
令和 7年	4月	東北中央病院	整形外科医長
		現在に至る	

先生が医師を目指された理由を教えてください

はじめは精神科医になろうと思っていましたが、初期研修後に救急部で３年間働いたことがきっかけで、救急の専門医を取得しました。その後に専門分野（サブスペシャリティー）として整形外科を選択し入局しました。11年前にも当院へ赴任したことがあり、その際に田中先生をはじめ諸先輩方のご指導を受けて脊椎外科医を目指すようになりました。

こんな症状はお任せください ― 頚部神経根症 ―

首の脊髄（せきずい）から出る神経である頚部神経根が圧迫されることが原因で生じる頚部神経根症（けいぶしんけいこんしょう）の研究を行っています。この病気は肩の痛みから始まり、その後に腕の痛みや手のしびれが現れます。中には肩や肘、手の力が入らなくなる場合もあります。主に首の5番から８番の神経が圧迫されることが多く、それぞれの神経によって起きる症状は異なります。



5番の神経

肩の後ろの痛みと共に肩を上げる力と肘を曲げる力が弱くなります。

6番の神経

５番と同様の症状ですが、腕の外側にしびれが出て、指のしびれが出ることが多いです。特に親指に強いしびれが出ます。

7番の神経

最も症状を起こしやすく、肩甲骨（けんこうこつ）の内側の痛みから始まって腕の後ろ側のしびれを生じ、指のしびれが出てきます。人差し指と中指にしびれを強く感じます。肘を伸ばす力や指を伸ばす力が弱くなります。

8番の神経

肩甲骨やその内側に痛みが出たのちに肘から先のしびれが出ます。このしびれは内側にみられ小指と薬指までしびれが広がります。特に小指のしびれが強くなります。指を伸ばす力がかなり弱くなり、下垂指（かすいゆび）という状態になると早期の手術が必要です。

最近になり４番の神経の症状が明らかになってきました。項部（うなじ）の痛みが主な症状で、耳の後ろや鎖骨の上に痛みが広がる場合もあります。腕や手には症状は見られません。

このように首や肩の痛みがみられる場合は頚部神経根症の可能性があります。診察時は患者様への負担軽減のため、なるべく待ち時間が少なくなるよう心がけておりますので、セルフチェックで症状が当てはまる場合は是非一度ご相談ください。

地域の医療機関の方々へ

Ｃ４神経根症の研究を行っています。首の痛みでお悩みの患者様がおりましたら是非当院へご紹介ください。

外来担当日
月曜日

受付時間
8:00－11:30（診療開始時間9:00）

※整形外科は月曜日から金曜日まで
　当番医体制で診療しています
※手術等により休診となる場合があります

田中名誉病院長　４月以降も当院で診療します

令和８年３月31日をもちまして、田中靖久先生が病院長を退任いたしました。
４月からは 名誉病院長 脊椎脊髄センター長 として引き続き診療にあたります。

《脊椎外来》

診療日　毎週月曜日・木曜日

受付時間　8:00 ～ 11:30
14:00 ～ 16:00

当日受診も可能ですが、新患の患者様は
できる限りお電話で予約をお取りください。

問い合わせ：整形外科外来・地域医療連携室　TEL023-623-5111

新任医師紹介

今年度から着任された医師をご紹介いたします

外科

氏名　長谷川繁生（はせがわしげお）
出身地　三重県
趣味　スポーツ（鑑賞も）
ギター

４月より赴任致しました長谷川繁生です。1987年から県内各地で外科医として働きまして３月までは済生館で約８年勤務致しました。当院でも外科、消化器外科などのお手伝いと共に乳腺疾患を担当させて頂きます。何卒宜しく御願い致します。

氏名　秋重 尚貴（あきしげ なおき）
出身地　北海道
趣味　サッカー
子どもと遊ぶこと

４月より着任いたしました秋重と申します。山形県では初めての勤務となります。消化器疾患や外科疾患を中心に、わかりやすい説明を心掛けて診療を行って参りますので、よろしくお願いいたします。

放射線科

氏名　小田 敦子（おだ あつこ）
出身地　千葉県
趣味　ピアノ

山形での生活は四半世紀を超え、東北は第二の故郷となりました。これまで培った知識と経験を活かし、画像診断を通して地域医療に貢献したいと思います。

消化器・肝臓内科

氏名　風間 裕喜（かざまひろき）
出身地　神奈川県
趣味　テニス、お酒

4月より山形大学医学部附属病院から赴任して参りました、風間裕喜と申します。これまで大学病院の他、日本海総合病院、公立置賜総合病院、済生病院で勤務して参りました。消化器内科医として診療にあたり、日々患者様から様々なことを学ばせていただいております。より良い診療を提供できますよう、精進して参りますので何卒よろしくお願いいたします。

編集後記

新年度が始まりました。いかがお過ごしでしょうか？
今年は午年です。午年は馬が常に前向きに進む姿から、発展や成長、努力が実を結ぶ年と言われているそうです。この勢いにあやかって、皆さまにとっても新しい挑戦が実を結ぶ一年となりますよう心から願っております。日々の小さな一歩が、大きな成長につながる年になりますように。（Y.A）

公立学校共済組合 東北中央病院
〒990-8510 山形市和合町 3-2-5
TEL 023-623-5111　FAX 023-622-1494
https://tohoku-ctr-hsp.com/
E-mail:jimu@tohoku-ctr-hsp.com

■発行責任者／上野義之　■編集／広報委員会

病院公式SNSへGO!

LINE　@TOHOKU5111　病院HP